

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
手稲溪仁会病院 新棟

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	竣工段階				重点評価項目					建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体		
	重点評価項目				A	B	C	D	評価点		重み係数	評価点		重み係数	
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄										評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>															
<b>Q1 室内環境</b>															
<b>1 音環境</b>															
<b>1.1 騒音</b>															
<b>1.2 遮音</b>															
1 開口部遮音性能															
2 界壁遮音性能															
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)															
4 界床遮音性能(重量衝撃源)															
<b>1.3 吸音</b>															
<b>2 温熱環境</b>															
<b>2.1 室温制御</b>															
1 室温															
2 外皮性能															
3 ゾーン別制御性															
<b>2.2 湿度制御</b>															
<b>2.3 空調方式</b>															
<b>3 光・視環境</b>															
<b>3.1 昼光利用</b>															
1 昼光率															
2 方位別開口															
3 昼光利用設備															
<b>3.2 グレア対策</b>															
1 昼光制御															
2 反射率対策															
<b>3.3 照度</b>															
<b>3.4 照明制御</b>															
<b>4 空気質環境</b>															
<b>4.1 発生源対策</b>															
1 化学汚染物質															
2 燃焼汚染物質															
<b>4.2 換気</b>															
1 換気量															
2 自然換気性能															
3 取り入れ外気への配慮															
<b>4.3 運用管理</b>															
1 CO <sub>2</sub> の監視															
2 喫煙の制御															
<b>Q2 サービス性能</b>															
<b>1 機能性</b>															
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>															
1 広さ・収納性															
2 高度情報通信設備対応															
3 バリアフリー計画															
<b>1.2 心理性・快適性</b>															
1 広さ感・景観															
2 リフレッシュスペース															
3 内装計画															
<b>1.3 維持管理</b>															
1 維持管理に配慮した設計															
2 維持管理用機能の確保															
3 清掃管理業務															
<b>2 耐用性・信頼性</b>															
<b>2.1 耐震・免震</b>															
1 耐震性															
2 免震・制振性能															
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>															
1 躯体材料の耐用年数															
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
4 空調換気ダクトの更新必要間隔															
5 空調・給排水配管の更新必要間隔															
6 主要設備機器の更新必要間隔															
<b>2.4 信頼性</b>															
1 空調・換気設備															
2 給排水・衛生設備															
3 電気設備															
4 機械・配管支持方法															
5 通信・情報設備															
<b>3 対応性・更新性</b>															
<b>3.1 空間のゆとり</b>															
1 階高のゆとり															
2 空間の形状・自由さ															
<b>3.2 荷重のゆとり</b>															
<b>3.3 設備の更新性</b>															
1 空調配管の更新性															
2 給排水管の更新性															
3 電気配線の更新性															
4 通信配線の更新性															
5 設備機器の更新性															
6 バックアップスペースの確保															

CASBEE_Sapporo2014v1.2 手稲溪仁会病院 新棟		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)									
スコアシート	竣工段階	重点評価項目				A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理	
配慮項目	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数					
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>					-	0.30	-	-	-	-	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			C		3.0	0.30							3.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		4.0	0.40							4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30							3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	3.0	0.50							-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C		3.0	0.50							-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-	-	-	-	-	-	-	-	3.1
<b>LR1 エネルギー</b>					-	0.40	-	-	-	-	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				5.0	0.20							5.0
2 自然エネルギー利用	A				3.0	0.10							3.0
3 設備システムの高効率化					3.0	0.50	BEI	非住宅	-	住宅(専有部)	-		3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				3.0	1.00							-
集合住宅の評価(3c)	A				-	-							-
4 効率的運用					3.5	0.20							3.5
集合住宅以外の評価					3.5	1.00							-
4.1 モニタリング	A				4.0	0.50							-
4.2 運用管理体制	A				3.0	0.50							-
集合住宅の評価					-	-							-
4.1 モニタリング	A				-	-							-
4.2 運用管理体制	A				-	-							-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					-	0.30	-	-	-	-	-	-	3.0
1 水資源保護					3.4	0.20							3.4
1.1 節水					4.0	0.40							-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60							-
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70							-
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30							-
2 非再生性資源の使用量削減					2.7	0.60							2.7
2.1 材料使用量の削減		B			2.0	0.10							-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B			3.0	0.20							-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			3.0	0.20							-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			1.0	0.20							-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B			3.0	0.10							-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			4.0	0.20							-
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.20							3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					5.0	0.30							-
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70							-
1 消火剤		B			-	-							-
2 発泡剤(断熱材等)		B			3.0	0.50							-
3 冷媒		B			3.0	0.50							-
<b>LR3 敷地外環境</b>					-	0.30	-	-	-	-	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		B			3.0	0.33							3.0
2 地域環境への配慮					3.5	0.33							3.5
2.1 大気汚染防止		B			4.0	0.25							-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D	3.0	0.50							-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					4.0	0.25							-
1 雨水排水負荷低減		B			4.0	0.25							-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25							-
3 交通負荷抑制					5.0	0.25							-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	4.0	0.25							-
3 周辺環境への配慮					2.3	0.33							2.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40							-
1 騒音					3.0	0.33							-
2 振動					3.0	0.33							-
3 悪臭					3.0	0.33							-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					1.6	0.40							-
1 風害の抑制					1.0	0.70							-
2 砂塵の抑制					-	-							-
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30							-
3.3 光害の抑制					2.3	0.20							-
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策					2.0	0.70							-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30							-